

におきましては、高齢者のおむつ支給事業を所得制限を設けて月3,000円または6,000円を限度として実施しております。利用者からの現在のところごみ袋を配布してほしいという要望はございませんが、このことについて検討は当然赤ちゃんのいらっしゃる家庭には支援してるわけですから、検討したことはございますけれども、やはり高齢者っていいますと65歳以上から高齢者ということになりますし、それを75歳以上の後期高齢者にもし仮にするとしても、全員の方に配布するということだと、それだけでも対象者が5,000名ぐらいになります。65歳以上にしますと9,000名以上になります。この方々にごみ袋配布ということになりますと相当な金額を用意しなきゃいけないということから、やはり何とか赤ちゃんを一人でも多く、子育て世帯に出席してもらおうということでおむつのごみ袋等々のための支援でございますので、そういった趣旨から議員にはぜひご理解を賜りたいと思います。

ただ、使用済みおむつの保管やポータブルトイレから発生するにおいへの対処には、皆さん苦勞されているようでございまして、そこで支援できないかということは現在、担当課のほうで検討しております。もちろんごみ袋配布も含めて対象者、必要物品の範囲、金額等を検討し、なるべく早い時期にこれは実施したいと。ただごみ袋の実施については相当な枚数が必要なはずですので、一袋といいますか、何枚入り、10枚入りでしたっけ。あれですと500円ですので、これ毎月定期的に必要なので、それを1万名近い人に配布という億になりますんで、とてもとてもこれを続けることは一時的にできても難しいんじゃないかと考えてます。

なお、おむつ利用の高齢者を把握するということとは非常に難しく、対象者をおむつ支給事業対象者、現在108名でございますけれども、その方におむつと一緒に業者に自宅に届けていた

だくということだと、支援として可能なのかなということで今検討中でございます。以上です。

○**渋谷佐輔議長** 10番、赤間泰広議員。

○**10番 赤間泰広議員** ありがとうございます。ちょっと私の言い方が悪かった。高齢者というと先ほど市長がおっしゃったとおり、7,000名、9,000名というっていうことなんですけれども、在宅介護だけっていうか、それに限定して何とかできないかなというようなお尋ねをしたところでございます。ただいま、何か108名の方がいらっしゃるというようなことで、その方には今後そういったこと検討していきたいというような前向きな回答をいただいたと思います。ぜひ高齢者じゃなくて、間もなく私も高齢者になるんですけども、65歳からもらってもしようがないと思うんですけども、やっぱり在宅介護しているってことで、介護支援という意味でこういったものをぜひ支給していただきたいというようなことでございます。これ市長、私には相談があったんですね。これぜひ介護してるんだけど、おむつのごみ、ごみ袋だけでも何とかなんねえかなんていうことでご相談あったもんで、私が提案、提言させていただいたところでございます。

そういうことでございますので、ぜひご理解いただいて、今後支援していただければなというふうに思っているところでございます。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございます。

### 小関秀一議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 次に、順位11番、議席番号11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** おはようございます。

12月議会一般質問、最後になりました。よろしくお願ひします。

先ほどから北のほうの山見てますと、レインボーの虹がかかっておりまして、あしたあたりから大分雪空になるというふうな予報もあるようですが、あんまり荒れねどいいなという思いと、12月23日、市営のスキー場のスキー場開き、ことしも予定されております。蔵王ではもうスキーヤーが滑ってる様子報道されておりますけれども、冬のスポーツ、長井の体力づくりの一环でスキー場にはいっぱい降ってもらって、楽しんでもらえる冬の到来がもうすぐそこに来ております。

1年少しこう振り返ってみますと、さまざまなことあったなというふうに思い起こすわけですが、幸い市内では大きな災害などもない1年だったなというふうに思いますし、ことしの冬は大雪でもあんまり大雪にもならなかったというふうなこともありました。ことしの1月のスキー場開きはしたんですが、実際にスキー場が開いたのが1月の20日過ぎだったというふうなことで、あんまりスキーに乗れる日にも少なかったというふうに思い返しております。あとインフルエンザの流行とか、さまざま大きなこともあったわけですが、議会としてはことしから一問一答、私も今回一問一答させていただくわけですが、を導入すつというふうなことで、私んだもふなれな部分もありましたので、原稿を読んで回答を聞くということばかりでなくて、一問一答の中で市民生活のいろんな課題を話し合っていくと、議論していくというふうな、新しい幕あけの1年にも議会もなったのかなというふうに思い返しております。

天候不順がちょっと心配されまして、稲作や農産物の生育なんかも、夏場の雨続きが非常に続いたわけですが、幸いこれも平年並みというふうな作柄で推移をしたというふうなことで、地域の農家経済についてもちょっと一安心

した1年かなというふうに思い返しております。

大きなニュース、長井市内として、市民としてニュースが走ったのが、8月29日の山形新聞の報道で見出しは、「「長井駅周辺が有力」新市庁舎整備で長井市長」という見出しの記事が載りました。これについてはいろいろコメントもありましたし、中身については今後検討するというふうな記事の中身をしっかりと読めば、まだ有力な候補地というふうな記事でありましたけれども、いろいろな見方、捉え方、考え方がこの記事を読まれた方については感じられたんでないかなというふうに思います。

今回の質問は大きく分けて2つですが、1つ目は、公共施設の整備、特にことしから具体的に進もうとしております特に新市庁舎の建設にかかわっての質問をさせていただきます。

第1番目、財政面の課題はないのかというふうなことであります。長井市の公共施設整備等、さきに上げられました計画の概算事業費、前期5年間で111億3,000万円、後期5年で29億9,000万円、これが昨年度公表され、その計画にのっとりさまざまな公共施設を整備するというふうに計画されたわけですが、まず総務参事に、特に概算事業費について、これは計画でありますので、さまざまな変更等、検討が加わるもんだべなというふうには思いますけれども、現在の状況について報告をいただければなというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 齋藤環樹総務参事。

○**齋藤環樹総務参事** 長井市の公共施設等整備計画ですけれども、昨年11月に公表をさせていただいております。ただいま議員からございましたように、平成28年度から37年度までの10年間の整備計画を示したもので、前期5年、後期5年に分け、それぞれの概算事業費については、前期が111億3,000万円、後期が29億9,000万円となっております。この計画そのものは現時点では変更しておりませんので、計画上の数字と

いうことではそういうことになっております。なお、公共施設等整備計画は、公共施設の老朽化対策、それから新規整備に関しまして後年度の財政負担軽減、平準化を図りながら市民サービスを低下させることなく、施設整備を行っていくために策定したものでございまして、今後の公共施設に係る方針と大まかな財政需要とその影響を把握するものでございます。

計画書にも記載しておりますけれども、その中の事業費ということであれば、記載しておりますけれども、用地取得費は含まれておりませんし、また庁舎等大規模施設の事業費については、過去の類似の他市の事例を参考に算出したあくまでも概算の事業費でございます。今後、庁舎等の基本計画の策定に向けて、具体的で詳細な検討を進めていく中で、例えば最近の建設市場の動向とか今後の見込みなどを含め、状況を勘案する必要があると考えておりまして、事業費の変更というのは当然あるものと考えており、今後適正に見積もった事業費をもとに事業を進めていくということになるかと思っております。その際には、計画に記載している例えば実質公債費負担推計額などを修正しながら、将来負担を的確に把握し、財政の中期見通しなどに反映しながら、適切な財政運営に努めていくというふうなことを考えているところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** ありがとうございます。参事の回答だと当然概算なので、これは都度見直しをしていくというふうなことはあろうかというふうに思いますが、いわゆる市の将来の負担を考えると、10年間で142億円ぐらいか、というふうな多額のこれからの公共施設の投資に当たっては、かなり慎重に精査をしていかなければならないというふうに私どもも思いますし、市民もそれは非常に心配をしてるところだなというふうに思います。市庁舎の議論については今回の議会の議員の質問でも何回かありましたし、

3月から9月にかけての議会でもやりとりあったわけですが、市長からも座談会等、いろいろなところで検討する中で、市庁舎については30億円というふうな概算を計画をしておったんですが、30から40億円という数字がもう既に答弁の中でも出てきております。当然これは予定というか、計画なので、誰も設計してみないとわからないということはあるわけですが、しかも検討委員会の中でも、議事録の中では、当局から、150億円の10年間の予算を考えられるというふうな数字的な誤差まで既に出てきておるというふうなことでありますが、その辺については今の参事の答弁と最近の当局の考え方について、急激な概算の見積もりというか、考え方について変化があったのかどうか、再度質問したいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 齋藤環樹総務参事。

○**齋藤環樹総務参事** 特に庁舎のところについては、現在基本計画を策定中でございますので、業務を進めていく、今後これからある程度の事業費を算定していくということですので、特にまだそこは確定したわけではございませんが、いろんな発言ということであれば、そういったある程度の想定ということであったのかなと思っておりますが、特に庁舎の部分については今後の基本計画のところではそれなりの事業費を算定していくということになるかと思っております。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 概算だというふうに言われますと、それはほだんだべげんども、140億円が150億円っていうふうな数字が検討委員会の中ではもう出ておるわけで、そこるところ私は心配だなというふうに思います。例えばかつての道の駅や都市再生整備事業の道の駅の経験を申せば、当初6億円ぐらいからスタートした観光交流センターが完成までは12億円、約ですが、かかっておる経験があるわけです。つい最近の経験でも。これは規模とか土地の……。

○**渋谷佐輔議長** 通告書に基づいた質問をお願いします。

○**11番 小関秀一議員** ですので、私は心配なので、そこんところは計画の概算等については非常に心配をしてるというふうなことであります。つまり概算の計画から倍にもなったつい最近の経験がこれからも生かしていかなねべということなわけです。

次に、通告しています②の長井小学校の管理棟とか長井病院、あとコンポストセンター、福祉センター等々の、あと市長からさつき金曜日でしたか、インフラ整備等の説明もあったわけですが、そのほかにまだまだ市内の公共施設の整備っていうのは、例えばですが、スキー場の整備、あとあやめ公園の、長寿命化にかかわる整備等々も数多くあるなというふうに思います。この辺の検討については既に見直しをしながら進んでおるのかどうか、これも総務参事に伺いたいというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 齋藤環樹総務参事。

○**齋藤環樹総務参事** 公共施設整備計画の中の項目ということですが、長井小学校の管理棟は含んでおります。それからインフラ整備等につきましても、路線ごとに一々一つ一つ積み上げるのではございませんけれども、総額である程度ということで計上をしております。それからその他の施設、例えば長井病院、老人福祉センターということがございましたけれども、市の公共施設等整備計画、市所有の施設に係る計画ということでございますので、置賜総合病院企業団の所有である長井病院、それから社会福祉協議会が所有している老人福祉センターなどは含まれてはおりません。なお、これらの施設の整備に当たりましては、中身が確定すれば負担金あるいは補助金が発生するということになるかと思いますが、このところにつきましては、公共施設等整備計画というよりも財政の中期見通し等において、こういった負担金あるいは補

助金等を考慮したものを作成して、適切な財政運営に努めていくということになるかと思えます。あとコンポストセンター、スキー場用地等につきましては、現時点では方針未確定でございますので、これから必要に応じてということになるかと思えます。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** ありがとうございます。スキー場とかコンポストセンターについては未確定ということで、コンポストセンターについてはさき、金曜日でしたか、市長の答弁にもありましたが、これからの大きな長井市の検討課題というふうなこともお聞きしましたので、今、総務参事からはこれからのいろいろなものについては、公共施設の対策というよりは負担金の部分、あと財政的な検討をしながら進めていくんだというふうな答弁でありましたので、一つ具体的に言えばスキー場の土地の取得の問題とか、さまざまな市の取得財産にかかわる部分については大きな課題があるんだべなというふうに心配をしております。

次に、整備中の旧長井小第一校舎の利活用について、今いろいろこれからもですが、さまざまな組織、あと外部に検討する方法等を発注しながら利活用について検討を進めるというふうなことだと思います。私はせつかくの大事な長井市の財産でありますので、多くの方に有効に使ってもらえればなというふうな思いも込めてであります。非常な面積が大きい施設であります。ですので、かつてはある議員からは議場に使わんにえがとか、さまざまな発案っていうか、提案などもあったわけですが、利活用のいわゆる規制とか、例えば固定的に使うのは難しいのかどうかも含めてであります。公共的な施設、例えば私は美術館や博物館、あと展示場とか、あとそういう公の場面での利活用は可能なかどうか。これは指名をしております副市長から答弁をいただければなというふうに思い

ます。

○**渋谷佐輔議長** 遠藤健司副市長。

○**遠藤健司副市長** お答え申し上げます。整備中の旧長井小学校第一校舎の利活用に公共的な機能を設けることは可能かというふうなご質問であるというふうに思います。

議員ご案内のように、旧長井小学校第一校舎はハードのほうを今進めております。地方創生拠点整備交付金、ソフト事業は地方創生推進交付金、2つを活用しております。平成31年、平成でいえば31年4月の開設に向け、学びと交流の場とすることを目指して事業を行っております。現在のハードのほうは、来年12月の竣工をめどに工事を進めております。ご質問の利用方法ですが、議員ご質問のとおりですが、株式会社三菱総合研究所が昨年調査をしまして、やはりあの建物は学びと交流を基本として活用してはどうかというふうな方向が出されております。今年度はそれを踏まえまして、活用基本計画策定支援業務を同じく三菱総研のほうに委託して今、旧長井小学校第一校舎と類似の、同じような施設等について運営実績がある県内外の民間事業者などから聞き取りを行っているというような状況にあります。また、長井市のまちづくりに今までいろいろとかかわっていただいた企業、コンサルタント、あるいは個人の皆様にも情報を提供しながら、よりよい活用をというように探っております。さらには議員の皆様ご案内のとおり、12月1日には旧長井小学校第一校舎の保存利活用を推進する会の皆様から市民の皆様にも対してもご意見を求めさせていただいたというような状況でございます。これを集約された後、市長に提言があるのかなというふうに思っております。

今後はこれらの提言や情報を取りまとめて整理していく中で、学びと交流の場として旧長井小学校第一校舎に公共的な機能が求められることもあるというふうに考えております。その際は

あのおり大規模かつ希少な木造校舎の特性を生かした運営等に参加したいという民間の皆様との提案と、有機的にお互いに相乗効果があるように結びつく公共的な機能あるいは空間が求められることもあるというふうに思います。その際には議員ご質問の中であった美術館あるいは博物的な機能、そういった部分も結びつきが強ければ設置することも検討していく必要は十分あるというふうに考えております。なお、現状を申し上げましたが、今その点を慎重に検討している最中でございます。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 今、副市長から、公共的な機能の部分については検討可能だというふうにお聞きをしたわけですが、そこは古い木造というふうな条件があるわけで、例えば美術品などを展示する際の空調とか、例えば新市庁舎をつくるに当たっては、7つに分散してる市役所機能を一つにまとめるという意味での新しい庁舎の目標があるわけですが、私は長井小学校の第一校舎を、言葉は悪いですが、無理やりあそこのスペースを教育施設から切り離して今の免震工事をしているというふうなことの観点からいけば、教育委員会ぐらいあの施設使わんにえながなという思いがあります。教育的な面、学びや交流というふうな観点からいけば、教育委員会何人職員がいて、どういう機能が必要なのかということも、これは検討しなねべげんど、ああいうような立派に残す長井市の機能の中さ、教育的な公共の機能も入れることも一つのこれは私の考えだから、提案ということで思うところもあるし、例えば現在、市民の運動で菊地隆知先生の版画の市への寄贈というふうな課題もあるようであります。じゃあ、受け皿としてどうすんのかというのも非常に教育委員会とか保管場所なんかも、これは心配しなね、貴重なものなので。ただ、受ければいいっていう問題でもないわけだけども、そういうどさ十分に

活用すれば、旧長井小学校の第一校舎っていうのは物すごく生きてくるんだべなというふうに思うわけですが、この辺については再質問で副市長から回答というか、もらえますか、これ質問の中身の中でいいべがっし、議長。

○**渋谷佐輔議長** 遠藤健司副市長、簡潔にお願いします。

○**遠藤健司副市長** 今、小関議員からお話のような市民の皆様の動き、あるいは声はありますので、そういったお声に対しては十分検討の余地があると思いますが、ちょっとこれは議員の質問の前段でお話あった教育委員会ということについては、私はやはり同じ新しい市庁舎の中に入るのが機能的であるし、だというふうに思います。ましてあの建物としては教育委員会が入ることは難しい建物だというふうに認識しております。

○**渋谷佐輔議長** 小関議員に申し上げます。通告項目が大分あるようですし、時間配分などもひとつ考慮の上、質問をお願いします。

11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** ありがとうございます。難しい部分も確かにあんなべなというふうに思いますけれども、さまざまな有効活用という意味からいうと、一つの検討材料になるのかなと私は思っておりますので、ひとつ市民の声をこれからも多く聞いていただきながら有効活用に向けていただきたいというふうに思います。

3番目ですが、財政の見通しについて。私は議員になってからもずっと財政計画がないと、かつて私んだ経験したいわゆる財政再建の長きにわたる苦労というか、が生かされないんだべなというふうな観点で、例えばですが、公共施設マネジメント方式を取り入れたらいいんでねえとか、何回か申し上げてきたわけです。市長からもこの間、金曜日だかの回答の中でも私んだが苦労してきた財政再建の道筋、道筋っていうか、経過についても説明もあったようであ

ります。これはやっぱり十分に私ども未来を託す市政の教訓にすべきだというふうに思いますけれども、財政の見通しについてやっぱり5年の見直し、見通しということではなくて、10年、さらには20年、30年のシミュレーションはぜひ行ってもらいたいというふうに思うわけですが、この辺の可能性について財政課長に伺いたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 松木 満財政課長。

○**松木 満財政課長** それでは、私のほうから、20年、30年先の財政の見通しというふうなところでお答えをさせていただきます。

財政としては将来的な見積もりとして、現在議員からありましたとおり、5年間の中期見通しというふうなことで作成、公表させていただいております。今後もこのスタイルのシミュレーションは続けていきたいというふうに考えております。議員からのご提案、ご質問の20年、30年というスパンの財政計画というふうな部分では、近年、国の財政の枠組み、制度などがさまざま頻繁に改編があるというふうなことで、つくったとしてもかなりの誤差が生じてくるというふうに考えております。実質的に狂いのない計画がつかれるのは5年程度というふうなことで考えております。現在の公共施設等整備計画が37年までの期間というふうなことで、10年間の期間で計画をつくっておりますが、この間の市債の残高とか起債の元利償還金、実質公債費の負担額の推移などについては、この計画の中に盛り込まれていて、現行の地方財政の仕組みが継続するというふうなことを考えますと、公共施設の整備がこの10年間で及ぼす影響というのは、この計画で読んでとれるというふうに考えております。ただ、先ほど総務参事からもありましたように、新たな大規模な改修とか、あと今の計画の中で事業費が変更になっていくというふうなことも考えられますので、この計画をベースにした具体的な数字の変更や組み入

れなどを行うことも、財政的な部分の計画としては必要と考えております。今後も施設などでもできた後の施設運営経費とか、そういうふうな部分も入れ込みながら常に新しい、確からしい数字で10年間程度の財政としての中期じゃなくて、少し長期の見通しはつくっておく必要があるというふうなことで、考えているところでございます。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 今、課長から10年ぐらいの財政計画が必要だべというふうな回答をいただきました。私もそう思います。さらに言えば20年、30年あればいいなというふうに思いますが、都度変わっていくわけだから、これは見直しは当然してがんねと、国の方向性も変わるわけだし、ですが、公共施設という枠を考えれば、市民にとっては大きな課題になるわけですので、かつて公共施設の白書の検討というふうに私は、これは25年の3月にも質問し、お願いをした経過があるわけですが、ぜひこれは前向きに検討してもらって、今、課長からは10年というふうなことありましたが、シミュレーションはできるわけです。公共施設の計画がもう既に出てるわけです。10年後まで150億円使うとなれば20年後、30年後の財政基盤がわかんねえと、若い人って不安でしょうね。子育てのしやすいまちづくりをするべなんていうことと一緒にしてがねど、私は長井市の将来については安心感が持てないべなというふうに思いますんで、ぜひ今の回答で前向きにお願いしたいというふうに思います。

4番目、ちょっと前後した質問になるわけですが、公共施設全般の市庁舎やさまざまな施設をこれからつくっていくんだということで計画の中で、木曜日あたりの質問の中にもありましたが、買わんなね土地や財産、あと整理しんなね、売ったり整理を必要とする公共施設、特に土地の部分についての今後のいわゆる売却なり

の処理についてどういうふうにご考えておられるのか。五十嵐議員の質問のときだと、例えば現庁舎の利活用の問題とか第二庁舎の土地の利活用の問題とかが具体的に上がったわけですが、例えば今使ってる教育事務所の旧税務署の土地の利活用の問題なんかの検討については、どういふふうにご検討を進めていくのか、副市長にお伺いをしたいというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 遠藤健司副市長。

○**遠藤健司副市長** 公共施設用地の売買の件がこれからの公共施設整備の中でどういふふうにご影響を与えられるかというふうなお話だというふうに思いますが、用地も含めて先ほど総務参事がおおむねお答えを申し上げたところであります。それぞれの個別の施設がより市民が求める最適の土地が決定なった場合には、それに必要な用地の買収は、取得は必要であると。一方で、その結果、もしも余剰になるような土地であれば、その売却ということも反映すべきじゃないかというふうなお話だと思いますが、それは当然でございます。常に市の財政の中では余剰の市有地、処分できるものについては、常にあらゆる方面に処分のほうを進めております。一方でお借りしてる土地もあります。お借りしてる土地、これをまたお返しして、また私どもでは新しい土地を求めると。その結果、将来の賃借料は発生しなくなる。一方で土地を買った際の取得の将来への負担がふえるということもありますので、そういうものを相対的に見ると、当然用地の取得、そして売買、そして返却というものがこれからの公共施設の用地の中で影響を受け、受けられるものになるというふうに思っております。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 恐らく例えばですが、さっき前段の質問で例えば市の管理の外だといながら、長井病院の借地の問題、あと老人福祉センターの借地の問題等も含めて、やっぱり

これは市が非常にかかわってる施設、これから課題となってくる施設の土地の問題も含めての課題もありますので、さらに言えば道の駅の議論のときも市有地、市の所有地がある場所の選定とか、さまざまな候補地の議論もあったわけで、土地の問題というのは非常に大きい課題なんだなというふうに私んでも今までも経験も踏まえて考えると、大きな課題でありますので、ぜひ検討を進めていただくというふうをお願いを申し上げます。

大きな2番目、新市庁舎に特化しての質問を市長にさせていただきます。

2回ほど検討委員会開かれたようであります。まだ私どもには2回目の内容の公表などされておりませんが、検討委員会については15名というふうなことで広くというふうな方々の選定がなされたようですが、私から見ると女性とか、女性が3名でしたか、あと若い人が比較的少ないって、これは当然地区長さんとか肩書、役職の方々を選んだ結果というふうなことだとすれば想定もされるわけですが、やっぱり長井市の百年の計を検討する検討委員会だとすれば、まだまだ若い人の声はぜひ反映しなねんでねえかなというふうに率直に思いました。市長からそこら辺回答いただければと思います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

小関議員おっしゃるように、確かに若い人あるいは女性は少ない、比率的には、そのように考えております。おっしゃるとおりだと思います。選定の方法について少し経過を含めてお話ししますと、当初10名の予定でございました。その10名の中でまずこういった方々に入ってもらおう、どういった方々に入ってもらおうかというふうに担当課も含めていろいろ話した際に、まず市庁舎ですから、議員おっしゃるように100年とまでは言わなくても70年、80年使用する市の拠点の、いろんな意味でメインの施設

だということから、公的、公共的団体の皆様のご意見をやはりきちんと聞かなきゃいけないということ、それから2点目がやはり学識経験者と言いますか、知識、知見の持ってる方々から聞かなきゃいけないということで、その中には例えば建築的な技術的なところの方も必要だろうなど。そしてあと公募も当然必要だろうということで10名を選定したところですが、結果として例えば若い人でしたら長井青年会議所の代表の方、あとPTA連合会、20代、30代ではないですけども、代表の方。そして女性団体ということで長井商工会議所の女性会、中央地区女性の会、また女性団体連絡協議会、この5名の方がどちらかという若い人と女性と。あとそれ以外は学識経験者2人入れまして、地区長連合会の会長さんと長井商工会議所の会頭さん、そういった方々を考えたところでございます。そこでバランス的に考えて中央地区の方が大分多くなりますので、これではやはり偏ってしまうということから、地区長連合会の会長さんっていうのは中央地区なんで、じゃあ、周りの5地区の地区長会の会長さんも入ってもらおうということで結果として15名にしたということでございます。

ただ、これだけではやはり偏ってしまうと。特に庁舎の位置については議会でお決めになるので、これは別として、中の機能とか市民の声を反映させるにはこの方だけでは不十分だということで、アンケートを、市民アンケートをとったところでございますが、市民アンケートについては16歳からですね。ごめんなさい、18歳から各層をある程度抽出して1,000名の方にお願ひしたということで、それで補完したという考え方でございます。以上です。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** わかりました。15名にふやしたんだというふうなことでありますが、私は今の市長の説明で、15名のうち若い人5人



ぐらい入ってたんだと言われればそれまでですが、あと7番に上げてます市民のアンケートの結果も期待するわけですが、これから長井のまちをどういうふうにしたらいいかという若い人の声を、やっぱり十分に取り入れるべきだなというふうに思いますので、例えば具体的に言うと、若い人のグループのワークショップとかさまざまな手法もまだ残されておるわけだし、例えば場所ばかりでなくて、機能とかレイアウトとかも含めて声をぜひ聞いていただければなというふうに思います。

時間ありませんので、ちょっと飛ばさせていただいて、第1回目の検討委員会の概略について議事録を見ますと、長井駅周辺で一致したというふうにあります。一致の内容を伺いたかったんですが、実はそれは諮問委員会ではないので、これは意見をお聞きしたということになるかというふうに思います。ですので、第2回目検討委員会がいつでしたか、先ごろ開かれました。これの概略はどういう意見が出されたのか。③になるわけですが、簡単に市長から報告いただければなというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

まず、議事録のほう、まだ議員の皆様にお渡ししてなくて申しわけございません。第2回の検討委員会は10月30日に開催したわけですが、第1回の委員会の内容を確認いただいて、皆さんから質問、意見などをいただいた後、基本計画（案）のことにつきまして説明をさせていただき、皆様からご意見をいただきました。構成は序章が基本計画の策定に当たって、第1章が庁舎整備の必要性、2点が新庁舎の基本方針、必要機能、3点が新庁舎の施設計画、4点が市庁舎建設に向けた事業計画ということで考えておまして、この基本計画の案のうち第2回の検討委員会では第2章までの部分を内容を示してご意見をいただいたところでございます。

意見としては庁舎ができることにより周辺の影響はあるか、活性化されるかと。やっぱり活性化に生かすべきだというような意見などいただきました。あと市民が使いやすい具体的な内容を明記してほしいと、必要があるんじゃないかということなどがいただいた意見でございます。以上です。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 大変申しわけないんですけども、少し時間なくなったんで、飛ばさせていただきます。市民のアンケート等についても、今、先ほど市長から回答ありました。18歳以上、1,000人対象に、私お聞きしますと、半分ぐらいの回収率だったというふうなことだそうですが、まだ公表なされておきませんので、ぜひ議会のほうにも報告を早急をお願いしたいもんだなというふうに思います。

というのは、木曜日、金曜日の一般質問の中でも出ましたが、いわゆる新聞報道も含めて、さも候補地が絞られたというふうな、ような雰囲気市内の中に、市民の中にもあるなというふうに心配をしております。私んだ議会も特別委員会をつくってまだ検討中ということでありまして、途中経過も含めてまだまだ今後検討重ねんな時期でもありますので、市民投票なんていうと私は極端だごもしんにえけど、多くの市民の方の意見をお聞きしながら議会として最終的な手順を踏んで決めていがんねというふうに思っております。

市庁舎の建設についてはいろいろ計画の中で、複合施設とのまちなかにぎわいをつくる、維持する、ふやす意味でも合築とまではいなくても、近くにつくりたいというふうなことについては、私も理解をするわけですが、例えば一方で長井駅と一体となったというのは、どなたかの質問でも一緒につくるか、渡り廊下を含めてなのかですが、合築のメリットもあるし、デメリットもあんなべなというふうに思います。

山形鉄道と一緒にってそういう建設の計画を進めておられるのかどうか、その辺は複合施設との合築のメリット、デメリットとちょっとかけ離れますので、これはまだ回答できないということであればですが、市長の見解をお聞きしたいんですが。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** ちょっと回答に困るんですが、まず1つ、建設の場所について決まらないう、実は協議できないわけですよ。山形鉄道との協議ってというのは本社のことだけです。駅は我々ルールで各市町村で整備するっていうことありますので、山形鉄道のほうと協議して、駅直してくださるんだったらこうしてください、ああしてくださいあるんでしょうけど、ですから、市庁舎を一緒にするかどうかってというのは場所決まっていないうけですから、協議できないんですよ。

それとあともう一つ、市民投票っていうことなんですが、まず庁舎の位置を決めるのは議会の皆様のご議決されるわけで、しかも3分の2でございすんで、市民投票ということはむしろ議会側で求めるんだたらわかるんですが、私どもでは求めておりません。それから庁舎の場所は市民の多数決で決めるんじゃないくて、議会の3分の2なんです。市民の皆さんには情報がきちんと行き渡らないうけですよ、議会の皆様とはまた違って。ですから、本当市民投票みたいなことやるんだたら、各地区でかなりきめ細かな討論会じゃないですけど、説明会をして意見をいただいてやりとりしないと、理解深まらないですね。

庁舎についてはさっき議員からあったように、100年近く使うものなんですよ。その長井市の将来ビジョンと直結した考え方じゃないとだめなんです。将来ビジョンというのはおこがましいこと言いますと、我々でできるのは本当普通20年、30年なんです、せいぜい。でも、

庁舎のこと考えたら50年っていうふうにと考えると、ちょうど国で言ってる人口減少が四、五十年は続きますよと。ですから、我々も3割から4割減るっていう中で、やっぱり基本理念はコンパクトシティとそして中央地区を中心に5つの地区の小さな拠点、そして交通ネットワーク、これに尽きるだろうと。それで考えたら中心市街地に置くのは、これはいたし方ない。いろんな考えがあると思いますよ。ですから、そういった中で考えてるんであって、合築どうのこうのっていうのは場所決まって、基本計画の業者さん決まってるんですけども、場所が決まらないう積算だってできないわけですよ。ですから、川西町さんが36億円、大体ということで概算出してますよね。あれ土地代含めてなんです。私ども30億円は土地代がゼロになるのか、5億円になるのか、10億円になるのかわかんないわけですね。ですから、私は30億円から40億円以内ぐらいでやりたいということ言ってるだけであって、建物を膨らまそうとか、そういうことを言ってるわけじゃないんですね。ですから、そこのところをご理解いただきたいというふうにして、実際まだ具体的なところはこれからです。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 市長から土地の場所については全くこれからなので、当然山形鉄道もですし、恐らく長井駅周辺となれば長井アパレルさんなりさまざまな民地、関係者についてもこれからだというふうにも私理解しますので、検討委員会に示された3つの案については、全くまだ有力地というふうなことで理解をさせてもらうというふうなことで、今後、議会、議員としても十分検討させていただきたいなというふうに思います。

ちょっと規模とかさまざまな職員の数とか10番目に書かせていただいたわけですが、時間ありませんので、ちょっと今回は飛ばさせてい

ただいでよろしいですか。はい。

じゃあ、最後に、コミュニティセンター、今回の議会では大きな条例改正の課題になっておりますので、ほかの議員からもコミセンの課題については質問等、考え方等で出ました。総務参事にコミセンの目的、目標について伺いたいというふうに思ったわけですが、私一番心配してるのは目標と課題の、今、市長からもあったように、小さな地域の拠点づくりだというふうなことで、今3地区準備をスタートすると、まさにスタートするのだということです。さまざま前の一般質問の回答でも、地域の意欲を期待するというふうなことでありますけれども、心配事は住民サービス、これ自主的にするのだから住民サービスということではないかもしれないけど、地域間の格差、いろいろな活動、例えばNPOにしる地域のさまざまな活動に格差が出ないのかなというふうな心配です。これは自主的だから当然出てもこれはしょうねというふうに言われればそれまでだけども、例えば具体的なこと言えば、間口除雪をしたところとしてねところ、される地域と人材とマンパワーがなくてさんにえところと、例えば料金の問題とか、さまざまな地域の格差が出ないのかと。そこら辺を目標として掲げんのはいいんだけど、課題として総務参事はどういうふうにコミセンについて今捉えていらっしゃるのかお伺いをしたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 齋藤環樹総務参事。

○**齋藤環樹総務参事** これからの新たなサービスのところについては、今後の動きをまずは見させていただくと、これからということございまして、今お話にありました例えば間口除雪とか、どこかの地区で例えば早々に取り組まれてなかなかうまくいっているということであれば、それをごらんになってそういった成功体験を参考にほかの地区でもというようなことを期待はしております。ただ、いろいろな課題はあろう

かと思しますので、地区の皆さんと一緒に考えて、そういったサービスが地域の自主性を生かして実施できるように、さまざまこれから考えていきたいと考えております。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 前に金子議員の質問で、基本的には6地区一緒になってコミセン化についてはスタートすべきでないかというふうな意見もあって、私もそうだと一番理想的だなというふうに思いますが、むしろ準備の整ったところはもうスタートしたいという意欲のあるところもありました。ですので、地区それぞれの現在は地区の館長さん、職員の方等の話も十分聞いて、4月のスタートまで準備を整えてもらいたいというふうに思います。

あと3番の市民の周知ですが、市民の方々、地域の方々ほとんど知りません。金子議員が五十川地区でそういう会合を持って説明もしたというふうなことも、これは市としても十分説明する周知方法については、地区ごとによろければそれまでだかもしんねけども、条例改正も含めて大きな長井市の流れが変わる時期でありますので、周知を徹底していただきたいというふうに思います。

最後に、市長に4番目でありますけれども、自主的な活動については財政の支援が必要だなというふうに思います。先ごろの答弁では3地区には支援交付金事業として30万円というふうな具体的な数字が回答されましたけれども、プラスアルファでは補正なりいろいろな地域の取り組む課題について手が挙げたところ、要求されたところについては十分な財政措置がないと、せっきくの意欲がそがれるというふうな心配ありますので、ぜひその辺の支援について最後に市長に伺いたいというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 五十嵐議員のご質問で答えた、ご提言に答えた基本の交付金というのは、実は

活動の交付金とは別なものなんですよね。そこをどういうふうにご考えておられるかですが、ですから、必要ないろんな事業費については、活動される事業についてはきちっと手だてするというのは基本です。ただ、議論したのは基本のいろいろ、特に最初スタートするに当たってはさまざまな思わぬ経費がかかるだろうということでの部分ですんで、それは必要な財政措置はきちっとやっていくと。

あともう一つは、金子議員のときにもお答え申し上げましたけど、1年、2年でできるものではありませんと。あと市民の周知はもちろんこれ大切なんですけど、市民にきちっとわかってもらってからスタートするっていうのは、かなり至難のわざであろうと。ですから、周知については具体的にあやめR e P o等々ではやりますが、時間をかけてやっていくと。しかもこれ行政主導してうまくいくものではございませんので、私どもは一緒になってサポートはさせていただきますが、あくまでもその地域の皆様に自主的に活動いただきたいと。それについて我々はいろんな面で支援をさせていただきながら、地域の均衡ある発展っていいですか、安心して暮らせる地域のために努力してまいりたいと思っておりますので、ご理解よろしくお願ひしたいと思ひます。

○**渋谷佐輔議長** 11番、小関秀一議員。

○**11番 小関秀一議員** 回答ありがとうございます。

今、市長からあったように、自主的な活動については十分に手だてをしていくというふうなことでありましたし、市民の方々の理解を得るには時間も必要だということでもありますので、これは私んでもじっくりと見守りながら、私んでも参加をしながら、小さな長井市の拠点づくりに進んでまいりたいなというふうに思ひます。ぜひお願ひしたいと思ひます。

実は冒頭に言うかなと思ひてたんですけど、

きょう長井市では死亡事故ゼロ1,139日目だそうです。この間の長井市交通安全、第1回目の市民大会でさまざま長井市の誇れるところの課題も、課題というか、出ました。年末に当たって安心・安全な長井市民が新しい年を暮らせませうよう祈念を申し上げて、一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○**渋谷佐輔議長** 以上で一般質問は全部終了いたしました。

## 散 会

○**渋谷佐輔議長** 本日はこれをもって散会いたします。ご協力ありがとうございました。

午前11時54分 散会